

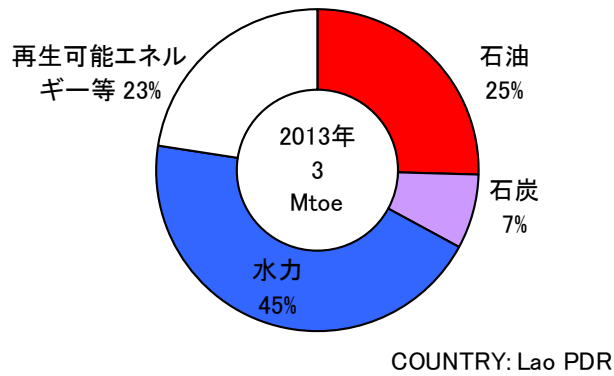
1-10 ラオス

1. サマリー

1. エネルギー事情

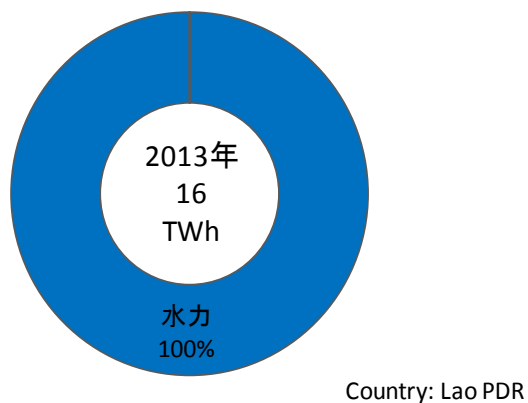
- (1) 一次エネルギー供給量 (2013年) : 3 百万 toe (日本の 1%)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2013年) : 0.44toe (日本の 12%)
- (3) エネルギー自給率 (2013年) : 107%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2012年) : 1.6 百万 CO₂ 換算 ton、(日本の 0.1%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2012年) : 0.24 CO₂ 換算 ton (日本の 2.5%)
- (6) エネルギー別可採年数 : 該当なし

一次エネルギー供給構成 (2013年)



(出所) Lao PDR Ministry of Energy and Mines

発電電力量構成 (2013年)



(出所) Lao PDR Ministry of Energy and Mines

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー鉱業省 (Ministry of Energy and Mines : MEM) がエネルギー及び鉱業分野を所管している。MEM 内のエネルギー事業局 (Department of Energy Business) が発電部門の民間投資に関する業務を行う。エネルギー政策計画局 (Department of Energy Policy and Planning) は、国家のエネルギー政策及び計画の策定、水力発電開発を推進する政策やメカニズムの形成等を担う。エネルギー管理局 (Department of Energy Management) は、エネルギーに関する法律、規定、技術・安全基準等を立案する。

(2) 基本政策

- ラオスは電力セクターを経済の重要な部門と位置づけており、以下の点を電力セクターの基本方針として挙げている。
 - ① 経済的、社会的発展を促進するため、経済性、信頼性、持続性のある電力供給の維持拡大を図る。
 - ② 貧困撲滅を重視した政府の開発目標を行う財源確保のため、電源開発を促進し、電力輸出を拡大する。
 - ③ 官、民、あるいは官と民のパートナーシップにより電力セクターの開発を効果的なものにするため法規制の整備・強化を図る。
 - ④ 国際水準の技術、ノウハウや経験を構築しながら自国の能力を向上させる。
 - ⑤ 環境や社会に対する影響に関する説明責任と透明化を明確化し、持続可能な発展を達成する。

(3) 最近の動向

- 2016年4月、ラオス政府とロシア Rosatom は、原子力エネルギーの平和利用協力に関する MOU を締結した。研究用原子炉の設計・運転、基礎・応用研究、原子力・放射能安全性、医療・教育・研修、といった分野での協力が検討されている。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 日本はラオスの電力事業において技術協力を行っている。例えば、関西電力は Nam Ngiep1 水力発電所 (容量 260MW) の IPP 事業を行う。2014年11月に建設着工、2019年1月に運転開始予定。
- 2016年7月、経済産業省が公募したエネルギーインフラの海外展開促進事業として、東京電力ホールディングスと北陸電力はラオスでの独立系発電事業者 (IPP) の案件が採択された。案件発掘は2016年度末までかけて行われる。
- 2016年9月、安倍首相は、Thongloun 首相と会談し、同国の送電網の整備等、中長期的なインフラ整備を盛り込んだ開発協力共同計画を決めた。

2. 主要エネルギー指標

(2013年)

(1)	一次エネルギー供給量	3	Mtoe(日本の1%)
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	0.44	toe/人(日本の12%)
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.28	toe/千\$
(4)	エネルギー自給率	107	%
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(2012年)	1.6	百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量(2012年)	0.24	CO ₂ 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率		
	石炭	7	%
	石油	25	%
	天然ガス	—	%
	原子力	—	%
	水力	45	%
	再生可能エネルギー等	23	%
(8)	エネルギーの輸入依存度	-7	%
(9)	石油の輸入依存度	100	%
(10)	輸入原油の中東依存度	—	%
(11)	原油輸入先		
	第1位	—	
	第2位	—	
	第3位	—	

(注) 再生可能エネルギー等は固形燃料(主に薪炭)。

(出所) Lao PDR Ministry of Energy and Mines (5)、(6) EIA、Country Analysis Brief - Laos